

令和6年1月26日

学校給食センターで「^{しんめいかいづか}神明貝塚献立」を提供します

春日部市の各学校では、1月24日(水)~30日(火)の全国学校給食週間に合わせて、給食の意義や役割について理解や関心を深めるため、さまざまな取り組みを行っています。

庄和地域の7校に給食を提供している学校給食センターでは、文化財課と連携した「神明貝塚献立」を初めて提供します。

市内西親野井地区にある国史跡の「神明貝塚」を身近に感じてもらえるよう、貝塚がつくられた縄文時代の食生活をイメージした献立となっています。

- ◆実施日時 : 1月30日(火)午後0時35分から(庄和地域の小学校、中学校、義務教育学校7校)
- ◆献立内容 : 【神明貝塚献立】
 - 古代米ごはん
 - ますの塩焼(ます)
 - 山菜の澄まし汁(ほたて、わらび、えのきたけ、なめこ、しめじ)
 - さといもの煮物(さといも、くり、とり肉、だいず)
 - *かっこ内は、使用する食材のうち、貝塚が作られた3,800年前の縄文人が食べていたもの
- ◆その他 : ・澄まし汁には、北海道八雲町が実施する、全国ホタテ提供事業(学校給食型)を活用し、八雲町から無償提供される冷凍ホタテ貝柱を使用する予定です
・取材については、事前に下記へ連絡をお願いします

神明貝塚の環境と食生活

神明貝塚は、森に囲まれ、近くには海の水と川の水が混じり合う河口や湖沼が広がっていた環境と推定されています。神明貝塚ではシジミ、カキ、スズキ、ボラ、コイ、ドジョウなどの魚貝類、シカやイノシシなどの動物、クリやクルミなどの木の実、ダイズやアズキの豆を食べていたことが明らかとなっており、縄文人の食生活が多様であることを現代に伝える貴重な遺跡として、国の史跡に指定されました。



神明貝塚(白く見えるのは貝殻)

問い合わせ先

学校教育部 学校給食課 学校給食センター
担当: 新井 電話 048-748-0788